

授業科目名	世界の見方とジャーナリズム	単位数	2単位
担当教員名	佐々木伸	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 世界の動きやニュースをジャーナリズムの視点から分析、物事の見方を養う。 【到達目標】 （１）フェイクニュースが氾濫するポストトゥルース時代の現状と意味を理解できる。 （２）冷戦以降の歴史を学修、グローバル化した複雑な国際社会・情勢を把握し、ニュースの背景や政治的問題点などを説明できる。 （３）インターネットやSNS全盛時代の激変したメディア環境の実態を理解し、ニュースの読み取り方とフェイクニュースにだまされないメディアリテラシーを養う。 （４）ジャーナリズムとメディアの基本的役割と社会的な責任を説明できる。 （５）報道と権力の関係を考察し、調査報道の重要性を理解する。			
授業の概要 インターネットの発達でスマホ・SNSが全盛の中、「ポストトゥルース」時代といわれるようにフェイクニュース（虚報）が氾濫し、何が真実か不透明感が広がっている。こうした時代にあっては、「真実・独立・公正」の3原則を掲げるジャーナリズム・メディアの役割とその責任は一段と高まっている。授業では、世界の動きの見方やフェイクニュースにだまされないための対策などについて議論する。			
授業計画 授業計画 第1回：どんな時代に生きているのか 第2回：ポストトゥルースとフェイクニュース 第3回：SNSとスマホの拡散 第4回：新聞の衰退 第5回：反グローバリズムの2つの出来事 第6回：トランプのメディア戦争と2024年大統領選挙 第7回：独裁者と報道の自由 第8回：ジャーナリズムの役割と社会的責任 第9回：報道の原則 第10回：メディアと権力—調査報道の力 第11回：実名報道と匿名報道 第12回：情報源の明示と秘匿 第13回：誤報と捏造 第14回：戦争・紛争報道 第15回：日米の報道比較			
スクーリングでの学修 主に授業計画に記載したテーマについて横断的に学ぶ。テキストについては、ダウンロード教科書「ジャーナリズムの役割特論」（佐々木伸著）を中心に講義する。スクーリング前にテキストを読んでくること。			
テキスト （１）佐々木 伸（2023）『ジャーナリズムの役割特論』（ダウンロード教科書） （２）SCパワポ資料（クラスルームに掲載）			
参考書・参考資料等 （１）藤代 裕之（2017）『ネットメディア覇権戦争』光文社新書 （２）津田 大介・日比 嘉高（2017）『ポスト真実の時代』祥伝社			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			